

ピレリスーパー耐久シリーズ2019 第4戦 TKU スーパー耐久レース in オートポリスが九州のAUTOPOLISで開催されました。梅雨時期と台風接近が重なり不安定な天候が予想されます。前戦の富士の優勝に続き良い流れで戦いたい中ではFRのロードスターにとって雨は厳しい戦いになりそうな予感です。今回は村上、山谷、雨宮、梶谷の4名で挑みます。



7月19日 金曜日 公式練習

金曜日の占有枠は予想外の曇りでドライで走ります。朝から予選モードでタイムアタックしますが少しセットの方向が上手くいかずにアンダー傾向。2枠目までにセットを変更してコースインして一気に車両のフィーリングがよくなります。が、土曜の天気は雨模様ですので、ドライでの予選アタックは無いかなあと思いつつ翌日の雨セットを考えていきます。

7月20日 土曜日 公式予選

公式予選は13時30分からです。予選はA,Bドライバーの合算タイムで決勝のスタートのグリッドが決まります。まずはAドライバーの村上から。なんと雨の予報がずれ込みドライで走ります。クリアを見付けながら1回目のアタックで2分15秒01でクラストップ。クーリングしてもう1回アタックして一気にタイムアップと思ったら最終コーナーで少しミスして2分14秒985で2番手。Bドライバーの山谷選手も徐々にタイムを伸ばしていき最後のアタックで2分15秒153で合算でクラストップタイムとなり富士に続き2戦連続のポールポジションです。ロードスターのコーナリング性能を発揮出来ました。 **予選 ST5クラス 88号車 クラス1位**



7月21日 日曜日 決勝5時間レース

決勝は11時30分からです。朝から雨と霧があり天候がころころと変わり続ける難しいコンディションのレースとなります。スタートは村上です。後続との間合いを測りながら完璧なスタートで後続を引き離しますが、「あれ、グリップ感がない？」タイヤの空気圧の設定を読み間違えたのか？まったくペースが上がらず、ずるずると後退していきます。それでも燃料が給油できる時間とドライタイヤに交換できる路面まで粘ってからBドライバーの山谷選手に交代。これがドンピシャのタイミングで徐々にコースのコンディションがよくなりペースが良く3時間半経過でトップになり、もう一回村上に交代してトップを維持して走ります。4時間を経過したところで急に雨が降り出します。このまま、ステイなのか？タイヤ交換なのか？指示を待ちますが無線の調子が悪く聞き取れない。「粘る意味があるの？」と思いつつ必死に我慢して雨の中スリックで走りますが登りセッションでTCRクラスの車両にインに來られてアウトに寄せた時にそのままグラベルに突っ込んでしまいました。必死に戻ろうとしましたが駄目でオフィシャルに脱出させてもらいコース復帰しましたが、残念ながら5位まで落ちて



しまい、ここから雨と霧が強くなりセーフティーカー先導でそのまま終了となりました。 **決勝 ST5クラス 88号車 クラス5位**

総括 チームオーナー兼ドライバー 村上

オートポリスはしっかりテストをして臨み、速さはありませんでしたが天候がどんどん変わる難しいレースでしたが最後の最後に我慢しきれずに本当に悔しいです。どうしても優勝したかったので最後まで攻めた結果ですが、改めてもう一度、情報を伝えることをどうするか？トラブル時の対処などを考えるいい機会と考え、もっと強いチームにする為に頑張ります。残り2戦ベストを尽くして走りますので皆様の応援よろしくお願いします。

